

# 体験して学ぶ

## 6年 校外学習 11月17日(木)

横浜見学に出かけました。横浜みなと博物館では、ペリー来航から現代の横浜港の様子までの歴史を学習しました。また日本丸の船内を見学し、船の歴史だけでなく船内での生活を知ることができました。神奈川県立歴史博物館では、神奈川の歴史と文化について貴重な展示物をじっくりと見ていました。

社会科の歴史の授業で学んだことを再確認したり、深めたりすることができ、更に詳しく調べたいという意欲が湧いていました。

歴史博物館では古代から現代まで幅広い歴史を知ることができました。見学する中で、「ここ学習した!」、「これは教科書に載っていた!」など学習と繋げることができてよい学びになりました。日本丸では、船内が複雑なつくりで驚きました。あの中で何か作業をするのは大変だったのではないかと想像しました。



## 神奈川区一斉授業研究会 音楽 11月9日(水)



「全体のひびきを聴き、音を合わせて演奏しよう」という 주제로音楽科の授業研究会が行われました。この時間のめあては「音の重なりを聴きながら、自分の楽器と他の楽器とのかかわり合いを感じ取りながら演奏すること」だったので、何回か全員合奏をしました。演奏を終える毎に「速さが速くなったり、遅くなったりする。」の発言には「それは前の時間気が付いたように、大太鼓の音を聴きながら演奏すれば大丈夫だよ。」と、子どもの発言に子どもが応答しながら学習が進んでいきます。

「(楽譜の)アの部分からイになったら曲の感じがガラッと変わった。」の発言にも、「他の楽器でもリズムが変化していたよ。」と応えます。

授業後の区内の先生方による研究協議会では、楽器の奏法に関する実技研修も実施しました。そこで先生方も同じ曲を演奏し、録音したものを子どもたちにプレゼントしてくださいました。次の授業で聴いた子どもたちが真っ先に発した言葉は「これ、ぼくたち(私たち)が使ったものと同じ楽器なの?」でした。素晴らしい先生方の演奏に圧倒されていました。

他のパートを聴きながら演奏しました。テンポがずれがちなので、次に合わせるときには、ずれないで合わせられるように練習します。

他の楽器を聴いていて、打楽器がないとリズムが取りにくいことに気が付きました。